# ろしっくレポート ひ3記者が行く

今回は、スポーツをしたい人とスポーツに利用して欲 しい施設や活動の場の架け橋となっている「認定NP

# スポーツしたい!を応援したい!! ~スポーツの楽しさは人の心と絆を育みます~ レポーター ひろ記者 津森正裕

宮沢賢治の短編小説「ポラーノの広 場」をご存知でしょうか。博物局員の主人 公が、昔存在したと伝えられている、市民 が集まって音楽や祭りを楽しんだ理想の 広場を、つめくさの灯りをたどりながら探す 物語です。



幅広いスポーツ活動を介して理想の広

場創りを目指されている、認定NPO法人ポラーノの松村理事長をお伺 いしました。少年野球、少年サッカー、小学生駅伝、ソフトテニス、フット サルなど、スポーツをしたい市民・団体と、施設を有効に活用したい施 設の管理者をつなぐ活動をされています。

## 「ドラワン塾」

プロ野球のドラフト1位 指名を目指す少年たちの 夢の実現を支援するのが [ドラワン]レッスンです。 カープOB(外野手、投手 など)による少人数制の レッスンで、小学3年生から 中学3年生までの、約80



名が参加しています。少年たちは少年野球クラブに所属しながら、この サークルに通っています。特に大切にしているのが、基礎的なトレーニン グ。「この時期の子どもたちは成長期。成長の度合いに応じたメニュー

づくりが大切。特に、ケガをさせないトレーニング指導を心がけている。」 と松村理事長。プロ野球経験者は少しの異常にもすぐに気づくそうです。

少年野球は親子の絆も強くするそうです。練習の送り迎え、試合へ の同行など、親御さんも大変ですが、子どもと一緒の時間を共有し、子 どもの姿を目の当たりにすることにより、親も子どもの成長を一緒に体感 することができます。

### 「地域のコミュニティづくり」

スポーツ活動を通した子ど も同士のつながりから、親同 士のつながりに、さらに知り 合いにも広がり、結果として 地域のコミュニティづくりにも 役に立っています。スポーツ 活動と防災活動のコラボも 検討されています。

春の季節、皆さん、外に出 ましょう! 体で体験しましょう! 自然を大切にしましょう!





「ひろ記者」とは、市民自らが地域のまちづくり活動やイベントなどを 回縁論回 ▶ https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/14/7197.html 回転



# からしっくコラム Rashikku column

# スポーツツーリズムは地域の架け橋

総工費1569億円と言われる国立競技場の改修工事も終わり、本年 (2020年)日本で、2度目の東京オリンピック・パラリンピックが開催され ます。暑さ対策等、国を挙げての準備が慌ただしい昨今ですが、海外 から多くの訪日外国人を迎える中で、感染症予防を含めた安全対策等 新たな対策も加わり、オリパラの開幕を待つばかりと悠長なことを言っ ている場合ではない状況になっています。

昨年、開催されたラグビーワールドカップ2019大会は、日本代表チー ムの活躍、躍進もあり大いに盛り上がり、ラグビーそのものをマイナース ポーツからメジャースポーツへと一気に押し上げた大会でした。

日本代表チームの活躍・躍進の要因として、選手たち各人の努力、 チーム一丸となった取り組みがあればこその結果ですが、多くの観客が スタジアムに足を運び、スタジアムを熱気に包みこんだことも、選手たち の気持ちを後押しした要因であると言っても過言ではないでしょう。

大会終了後も、子どもたちのラグビー熱が高まったことは明らかです。 国内大会のトップリーグにも大勢の観衆がスタジアムに詰めかけて選手 たちに声援を送り、熱い戦いが繰り広げられています。

プロ野球にしても、Jリーグにしても、観客の少ない閑散としたスタジ アムの試合と、満員のスタジアムでの試合では、明らかに試合内容が違 います。選手たちが決して手を抜いて試合をしている訳ではありません。 要するに、選手たちだけで試合をしているのではないという事です。ファ ン、サポーターも一緒に戦っているのです。だからこそ、ホームゲーム の雰囲気が重要なのです。

「リーグを例にしてみますと、ホーム&アウェイ方式で行われています ので、ホームゲームでスタジアムが満員であれば、入場料収入も跳ね上 がり、クラブにとっても安定した経営ができる要因となります。ホーム ゲームの運営がプロクラブとして最も重要なことであり、クラブ (含チー ム) 愛の醸成がベースです。 クラブ愛があるからこそアウェイの試合にも 駆けつけるのです。そのようにして、お互いのホームゲームが盛り上がれ ば、」クラブのホームタウンの社会的、経済的効果にも大きな影響を与え て、Jリーグ全体も更にパワーアップするでしょう。

これこそ、スポーツツーリズムなのです。近年、スポーツツーリズムと いう用語をよく耳にすると思われますので、スポーツツーリズムについて 簡単に触れておきたいと思います。「スポーツツーリズム・ハンドブック (一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構編)」によると、「スポー ツツーリズムとはスポーツ資源とツーリズムを融合する取り組みで、ス ポーツ参加や観戦を目的とした旅行と、それらを実践する仕組みや考え 方」ととらえられています。ひと言でいうと、「スポーツで人を動かす仕 組みづくり」なのです。

平和な世の中とは、人と人との交流であると言えるでしょう。



広島経済大学 スポーツ経営学科 教授

慶應義塾大学時代から日本代表に選出され、1974年、三菱重工業株式会 社に入社し、日本サッカーリーグで活躍。1982年に現役引退。引退後は慶應 義塾大学ソッカー部監督、浦和レッドダイヤモンズ事業広報部長、Jリーグ事 務局次長、日本サッカー協会技術委員等を歴任し、2006年6月~2009年4 月浦和レッドダイヤモンズ代表。スポーツの持つ潜在的パワーをこれまでの経 験を通して伝えながら、まちづくり、人づくりに取り組んでいる。

# ~南区内公民館~

地域のみなさんの学習活動を応援する最も 身近な施設「公民館」でまちづくりに関する 活動をしているグループをご紹介します。

.....

### 仁保公民館

れんこん句会の始まりは、『幸せを呼ぶやさし い俳句作り』講座からでした。受講生メンバー が「楽しいので終了後も活動を続けていきたい ね!」とグループ名を「れんこん句会」としてス タートさせました。

今年で約1年半になります。半数は、俳句の 初心者!!ご指導くださる水口佳子先生は、俳 誌 「夕凪」 の編集長をされていて、優しく、穏や かで、ユーモアあふれる方なので、句会でメン バーは、自由にのびのびと発言しています。い つも笑いが絶えず、楽しく充実した時間を過ご していますし、もちろん水口先生は、俳人夏井 いつきさんバリにすばらしい添削と批評をしてく ださいます!

(何を隠そう私も初めて俳句にふれた一人です が) 俳句を始めて、季節の小さな移ろいに敏感 になり、小さな生き物、情景や、心に感じた想い を俳句に織りこめた時の喜びも感じられるよう になりました。一緒に俳句を作ってみませんか。

活動日は、月1回第2水曜日、午後1時~3 時です。年齢も幅広いので、どなたでも大歓迎 です!!一度のぞきにいらしてください!



青崎公民館の音訳グループ「青空」です。発 足時から音訳講師のもとで音訳活動を行ってお り、現在は、毎月2回、水曜日に活動していま す。活動日には、それぞれが新聞や短文を読み 上げ、アクセント・区切り・言い回し・発音等に ついて皆で問題点や疑問等を挙げ、先生にご指 導頂き、公民館広報を主体に音訳を行っていま す。また、注目する新聞記事やコラム、お出か け情報等気になる文を公民館広報と併せて CD に吹き込み、公民館の図書室に置くとともに、 希望者にお渡ししています。目のご不自由な方 や高齢者の方など、どなたでも利用できるよう にしておりますので、是非ご活用ください。この 他、青崎公民館のホームページで音声部分の提 供もしており、また最近はご利用者のリクエスト 本を音訳して、お渡しもしておりますので、お近 くに音訳提供の利用希望者がおられましたら、

お知らせください。

より一層聞きやすい音訳を目指し、これから も皆で勉強してまいります。また、興味のある 方は、一度お越しになって、私達と一緒に活動 しませんか。



### 段原公民館

「パソコン同好会」は立ち上げから16年になり、 初代会長がご高齢のため退陣されて7年になり ます。その頃はパソコンの電源を入れることか らが勉強だったそうです。キーボードの入力もそ れまでの世界観とは別世界。ネット検索もコワゴ ワ。二代目になりましたが、パソコン世界は広が り続け、私たちはまだ入り口をうろうろしておりま す。それでも世界とつながっている気分になって、 ワードやエクセルに取り組んでいます。

会員は高齢者ばかりのため、忘れて何回も聞 くことがありますが、脳トレのつもりで「何回で も聞いてください。」とお互いを慰めあったり、 メールの見方や保存方法も聞いてなるほどと感 心したりしています。もっとパソコンで遊べるよ うになり、生活の中で使えることはないかと模 索中です。



草の実がはじけるように、俳句の輪を広げるこ とができますようにとスタートして5年目。俳句 をつくる楽しさに出会い、日常のささやかな幸せ を17音で表現しています。水口佳子先生は「凡 人です」とも「才能なし」とも言わず、優しさに包 まれたアドバイスで、我慢強く、その上、おもし ろがって俳句の楽しさに引き込んでくださいます。 「俳句は季語がいるから大変ね」と言われること もありますが、俳人の金子兜太さんは、「季語を 知ることは、出会う人や花、鳥、獣などすべての 生き物(自然)に対する思いが深まる。日々の暮 らしが豊かになる」と、言われています。季語 の美しさ深さに、どんどんはまっていきます。

月に一度の句会で、一か月悩んでしぼり出さ れたそれぞれの二句の、思いがけない解釈を聞 くのは楽しく、新しいメンバーを迎えるたびに楽 しさは広がります。



毎月第3金曜日の午前10時から集まってい ます。俳句の魅力に一度触れてみませんか。

## 宇品公民館

私たちのグループは、字品公民館主催の朗読 ボランティア養成講座を受講し、講座終了後、 有志が平成2年10月"朗読サークル野の花" を立ち上げて今日に至っています。

主な活動は、「市民と市政」の南区版南区だよ りを音訳して南区在住の視覚障害者15名に テープや CD で届けることです。自主制作した 「野の花だより」と随筆や小説を音訳した「野の 花ライブラリー」をセットにして届けています。

南区内の3つの小学校の児童館で月1回おは なし会や児童館の行事に朗読劇や手あそびなど で参加することにも力を入れています。読み聞 かせでは、子供たちが絵本の世界に聞き入って いる様子が見てとれるのは嬉しいことです。

春と夏には朗読会を開催しています。夏の朗 読会は"青い空は青いままで"をテーマに掲げ て原爆体験記、平和をテーマにした絵本の朗読 劇などで構成しています。被爆地広島の市民と して平和の大切さを後世に伝えたい思いから、 字品公民館と字品東小学校で発表します。

現在のメンバーは24名、活動日は毎週月曜 日午前10時~12時です。笑い声の絶えない、 雰囲気のいい、本好きが集まっているグループ

だと自負して います。関心 のある方はぜ ひ字品公民館 にお問い合わ せいただけれ ば幸いです。



## 似島公民館

私たちは、毎週木曜日の午後7時半~9時半 に似島公民館で活動しています。ソフトバレー は生涯を通じて楽しむことができる競技です。

1チーム4人の競技者がバドミントンコートを 利用し、柔らかいボールを使うので衝撃も少な く、初心者でも気軽に楽しめるスポーツです。 子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々がプ レーしています。現在部員は6人で、大会に向 けて練習に励んでいます。

私たちは市のリーグに登録しており、現時点 では女性フリーの部で4位と頑張っています。 公式試合だけでなく、いろいろなチームと練習 試合をし、交流を広げて、似島のことを皆に 知ってもらおうと頑張っています。

これからも 楽しみながら1 位を目指して 頑張っていき たいと思いま す。



## グループへのお問合せについては、 各公民館へお願いします。

● 仁保公民館 **2**082-281-1831 2 青崎公民館 **☎**082-281-3802 3 段原公民館 ☎082-281-3792 4 大河公民館 **☎**082-254-6731

5 宇品公民館 · 2082-253-2529 6 似島公民館 ☎082-259-1100



さまざまな分野の達人たちが登録しているまちづくりボランティア人材バンク。 地域活動やまちづくりのお手伝いに、

今日も、あなたのまちを達人たちがおうかがいしています。

# 人材バンク活性化委員会 似顔絵の描き方

やまぐち のりゆき 山口 紀行さん

# 厳しい現実を生き抜く力が広島の哲学 時代を動かす大きなエネルギーがボランティアを生み、育てる

平成9年に、ボランティア希望者とボランティアを求める市民を つなぐ制度としてスタートした「広島市まちづくりボランティア人材 バンク」。ボランティア登録者の活動をもっと活発に、出番を増や していくためのアイディアや思いを出し合い、まとめているのが 「人材バンク活性化委員会」です。

「私はもともと趣味で日本画を描いており、ボランティアとして老 人ホームや、原爆病院、養護施設へ慰問に行き、似顔絵を描 いていたんです」と人材バンク活性化委員会のひとり山口紀行 さん。平成12年に定年退職した後、ボランティアや公民館・文 化教室での似顔絵講師としての活動を本格的に始めます。



まちづくりボランティア

紹介してもらうには…

まちづくりボランティア人材バンクは「自分の知識や技

術を活かしてボランティア活動をしたい」達人と「ボラン

ティアで来てほしい、教えてほしい」団体・グループとをつ

現在260名余りの達人が300件を超えるボランティア活

地域活動や手作りイベントなど市民の皆さんが活動する

動で登録しています。年間350件程度の達人紹介の申込

みがあり、日程や活動内容等の条件が整った約300件が

人材バンク達人を

なげるシステムです。

活動につながっています。

平成6年10月に広島市で行われた「アジア競技大会」をきっ かけに、市民のボランティアへの参加機運が高まり、平成8年4 月に広島市にできた「まちづくりボランティア推進室」。平成10年 に「広島市ボランティア総合支援センター」となり、山口さんも 時々顔を出して、立ち上げメンバーの皆と一緒に運営方法につ いて議論を交わしていました。そこで感じた、ボランティア活動に 対しての思いや情熱を、記録として残し、次の世代に伝えてい きたいと思うようになったそうです。

「原爆で焦土と化した広島は、復興を遂げるその節目節目で 時代を動かす大きなエネルギーが働いてきたと思います。例え ば、戦後の復興の中で市民の大きな心の希望になった、広島 東洋カープの躍動。広島で開催されたアジア競技大会の時に は、広島市内の公民館が、参加国・地域の選手団を応援した

一館一国運動で、市民一体となって 大会を盛り上げました。また平成7年 に発生した阪神・淡路大震災をきっか けに、全国的にボランティア活動を行 う人がでてきて、広島でもそれぞれの 得意分野を活かしたボランティア活動 の組織が生まれました。その原点にあ るのは、原爆で全てを失った厳しい現 実を、生き延びて行こうという強い信 念だと思います」。



▲山口紀行さん

# 構想から2年、大きな力を持つ紙芝居が完成

平成25年、山口さんは同じ人材バンク登録者の「ひろしま紙 芝居村」の代表である阿部頼繁さんに相談。人材バンク創成期



▲紙芝居の脚本

### 中で、「お願い!達人」という時は、お気軽にご相談ください。 1. 人材バンク紹介申込書の作成 どういう団体・グループが、いつ、どこで、誰を対象に、

何をする行事なのか、希望する達人を所定の申込書へ記 入します。決まっていない項目は空欄のままで大丈夫です。 ※紹介申込書は、人材バンク登録内容リストや当プラザ HP、ひろしま情報a-netから入手できます。

※申込書の作成が難しい場合はご相談ください。

2. 合人社ウェンディひと・まちプラザへ申込み

当プラザへ、FAX、Eメール、郵送、窓口へ持参のいず れかで申込書を提出します。初めて申し込まれた団体や詳 しいことを確認したい時には、当プラザより連絡をさせて いただくことがあります。

3. 当プラザから達人へ連絡・調整

紹介申込書の提出後、希望する達人へ当プラザから打

診の連絡をし、紹介の可否を確認します。(連絡・調整に は、| 週間程度かかります。)

4. 申込団体へ達人の連絡先をお知らせ

達人紹介の内諾が得られたら、達人の連絡先をお知ら せします。達人との直接のやり取りのスタートです。速やか に正式な依頼の連絡を取りましょう。

5. 活動・イベント等の準備と実施

実施に向けて、達人との十分な打合せを行いましょう。 しっかり相談すれば、お互いに良いアイデアが生まれます。 いよいよ、活動・イベントの実施です。

6. 活動報告アンケートのお願い

活動終了後、当プラザよりアンケートをお送りします。 実施結果や感想、写真、配布資料等を報告してくださ い。その後の紹介に大変役立ちますので、ご協力お願い



▲紙芝居「復活・復興・ひと・まち広島市まちづくりボランティア人材バンク物語」



からを描いた紙芝居を作って、記録として残すことにしたそうで す。「私が脚本と作画を担当することになって、どう描くべきか悩 み、まずは創成期に携わった人たちに取材をすることから始めま した」。取材する中で「一般学習は文部科学省が学校で行って いる一般教育で、生涯学習は社会で学んだことを、ボランティア 活動などでより多くの人たちに伝えること」と聞き山口さんは感銘 を受けます。

また人材バンクの拠点となっている、広島市まちづくり市民交 流プラザに隣接する、広島市立袋町小学校横に、被爆後の広 島に大量の医薬品を取り寄せて自らも被爆者の治療にあたった、 スイス人医師・故マルセル・ジュノー博士の碑があります。同じ ボランティア活動をする者として、彼の深いその思いを後世に伝 える役割を担うべきと考えて、紙芝居の脚本に盛り込みました。

関係者への取材を重ね、構想を練り、人材バンク登録者49 人を含む総勢535人もの人々が登場する紙芝居「復活・復興・ ひと・まち広島市まちづくりボランティア人材バンク物語」は平成 27年に完成。平成24年に作られた人材バンクのテーマソング

「絆愛」とともに、毎月第4土曜日の午後に開かれる「まちづくりボ ランティア人材バンク発表会」など、人材バンクの主要イベント時 には度々上演されています。

「紙芝居のタイトルにも使っている、復興とはまちを興すこと。 復活とは、なくなったものが蘇ることだと考えています。広島とい う特別なまちで生まれ育った、多くの人材バンク登録者には、戦 後の厳しい現実を生き抜く力があり、時代を動かすエネルギー があると思います。その思いを、この紙芝居を通して感じて欲し いと願っています」。

山口さんは、公民館での似顔絵教室の講師を務める傍ら、 いろいろな人たちとさまざまなテーマについて議論を交わす、素 人の哲学「しゃべり場」を主催し、ボランティア活動を続けていま す。その中で次世代に、ボランティア活動がまちづくりの形成に、 大きな役割を担っていることも伝えていきたいと考えているそう

紙芝居にボランティア活動への情熱を込めた山口さんの思い が、作品を見た多くの人に届いてくれることを願っています。

# まちづくりボランティア 人材バンク発表会

ボランティア登録者が自らの達人ぶりを披露し ます。気軽にお立ち寄りください。

- ●日時/毎月第4土曜日 午後2時~3時半 ※時間は変更になる場合がございます。
- ●場所/南棟 | 階ロビー
- ※当バンクは、政治、宗教、営利目的の活動での利用はできません。 ※達人紹介は、団体・グループからの単発な活動に限ります。個人 活動や長期継続活動への紹介はできません。
- ※達人は、実費弁償ボランティアとして活動します。交通費、資料 代、材料費等の実費は、申込団体にご負担いただきます。

開催日時	内 容	出演者名
4月25日(土)	フォークダンスのパフォーマンス	吉島フォークダンスサークル
5月の人材バンク発表会はお休みします。		
6月27日(土)	紙芝居「復活・復興・ひと・まち広島市まちづくり ボランティア人材バンク物語」上演 & 大正琴の演奏(予定)	まちづくりボランティア 活性化委員会 & 桝本 純子

※内容・出演者は急遽変更になる場合があります。

## ボランティア紹介・登録などのお申込・お問い合わせは…

合人社ウェンディひと・まちプラザ ☎(082)545-3911 個(082)545-3838